

【学習プログラムを開発しよう！】

Fグループ

1 地域課題の発見・分析

- ・コミュニケーションとつながり。
- ・あいさつ。
- ・自然と交流（みどり歴史とむまなしのまちづくり）。
- ・被爆体験の継承。
- ・世代間交流。

2 目的（地域課題解決の方向性）と学習課題の選定

- 子どもを中心に地域のコミュニケーションを高める。
- 青少年の平和学習を深める。

3 プログラム全体の学習目標

- 参加者同士のあいさつができるようになる。
- 参加者同士のかがわりがうまくとれるようになる。
- 平和の大切さを理解できる。

4 プログラム名

ふたば キッズ チャレンジ

5 対象・定員

小学生 3～6年生、20名、高齢者（支援者）8名以上。

6 参加費

（受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。）

3,000円（食費と保険）

7 事前に必要な知識や準備物

しおり、弁当、カメラ、参加者は宿泊用品、
救急箱、アンケート用紙
食材、テラポッド用具一式、模造紙等

8 留意点

支援者への指導。
緊急体制づくり。

9 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回のねらい (◎) と学習内容・方法等	学習支援者	学習場所
第1回 7/14(土)	参加者同士の コミュニケーションと グループの役割	◎ ゲームを通して、コミュニケーションを 図り、仲良くなる。 ① オリエンテーション。 ② ゲームをして、グループ分けをする。 ③ グループ活動をやる。(対抗ゲーム) ④ 次の内容を知って準備をする。 ⑤ 振り返りアンケートに記入する。		二葉公民館
第2回 7/21(土)	高齢者への コミュニケーション	◎ 世代間交流を通して、コミュニケーション をより図る。 ① オリエンテーション。 ② 「すいせん」をつくる。 ③ 試食する。 ④ 感想を交流する。 ⑤ 次の計画を立てる。 ⑥ 振り返りアンケートに記入する。	◎ 地域の 高齢者。 ◎ カーフの ギャラリー への会	二葉公民館
第3回 7/28(土)	<午前> フィールドワークの 準備	◎ グループごとのルート設定 ① オリエンテーション。 ② グループ別のミーティング ◎ 平和講話 (語り部の方)		二葉公民館
	<午後> フィールドワーク	◎ フィールドワーク ① グループ別にふたばの星 めぐりをする。 ② 感想発表をする。 ③ 花火	◎ 地域の 高齢者。 ◎ 二葉の歴史の 散歩道ボラン ティアナイトの会	〃 (ふたばの星)
7/29(日)	<午前> あいさつと 高齢者との 交流	◎ あいさつをする。 ① 朝の散歩を通して、あいさつを する。 ② 高齢者とクラオゴルフを する。 ③ まとめ	◎ 地域の 高齢者。 ◎ カーフの ギャラリー への会。 ◎ 二葉の歴史の 散歩道ボラン ティアナイトの会	〃

10 評価方法

参加者へのアンケート